

平成 26 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	言語文化研究科 言語社会専攻 ヨーロッパ I (ロシア語) 講師
氏名 Name	横井 幸子
専門分野 Academic Field	ロシア語／第 2 言語教育、言語教育政策、 教師教育

主たる研究テーマ Principal Research Subject	<p>1) 日本の高等学校におけるロシア語教育に関する縦断的研究</p> <p>2) 高等学校教員ための研修開催</p> <p>3) その他</p>
<p>1) 日本の高等学校におけるロシア語教育に関する縦断的研究 昨年度に引き続き、日本でロシア語を教えておられる ALT の先生方の高校でのフィールドワークを 2014 年 6 月と 9 月に行った。その他、新たに富山県と新潟県の高校の先生にもご協力を頂き、フィールドワークを開始した。研究成果は、2015 年 5 月と 8 月に国際学会で報告予定で、その後論文としても発表する予定である。</p> <p>2) 高等学校教員ための研修開催 昨年度に引き続き、下記の通り、高等学校教員向けに研修を開催した。また、公益財団法人 国際文化フォーラムと共同で、カリキュラム開発と指導方法をまとめた冊子をロシア語で作成しているところである。来年度は、冊子の発表、この冊子をベースにした日本の高校のロシア語教師、ロシアの高校の日本語教師向けのワークショップ、共同研究プロジェクトを実施する予定にしている。</p> <p>横井幸子 (2014 年 9 月 27 日) . 生のテキストを活用する：より高次の思考を促す活動デザイン. 科学研究費プロジェクトワークショップ (基盤研究 C : 25370715) , 札幌市市民活動サポートセンター, 北海道.</p> <p>横井幸子 (2014 年 9 月 21 日) . 内容重視型の外国語教育 (実践編) — 「教科書を教える」からの脱却. 新潟県立大学, 日本ロシア語教育研究会サマーセミナー.</p> <p>横井幸子 (2014 年 6 月 21 日) . 教科書との付き合い方を考える：「教科書を教える」からの脱却. 科学研究費プロジェクトワークショップ (基盤研究 C : 25370715) , 札幌市教育文化会館, 北海道.</p> <p>横井幸子 (2014 年 6 月 20 日) . マルチリンガリズムとロシア語学習：言語, 教育, アイデンティティ. 招待講演. 県立青森南高校, 青森県.</p> <p>田原憲和&横井幸子 (2014 年 4 月 2 日) . 外国語学習のめやす：ウォームアップ研修. 立命館大学大阪梅田キャンパス, 国際文化フォーラム.</p> <p>3) その他</p> <p>Horii, S. (3/16/2015). Review of <i>The multilingual turn in languages education: Opportunities and challenges</i> by Jean Conteh and Gabriela Meier. <i>Language and Education</i>, 29(4).</p> <p>Horii, S. (9/3/2014). Second Language Acquisition and Language Teacher Education. In M. Bigelow & J. Ennsner-Kananen (Eds.) <i>The Routledge handbook of educational linguistics</i> (pp. 313-324). New York: Routledge.</p> <p>宮本友介, 横井幸子, 林田理恵 (2014a). 「日本のロシア語学習者の動機づけについて—全国 6 言語アンケート調査結果から—」『ロシア語教育研究』第 5 号, 1-11.</p>	

宮本友介, 横井幸子, 林田理恵 (2014b). 「日本のロシア語学習者の動機づけについて—期待・価値理論に基づく考察—」『ロシア語教育研究』第5号, 13-20.

Punti, G., Horii, S., Aleixo, M. (2015, March 21). Being critical across contexts: Intertextual analysis of the meaning of critical thinking among students at Japanese and US universities. American Association for Applied Linguistics (AAAL) 2015 Conference, Toronto, Canada.

横井幸子 (2014年11月2日) ロシア語学習者の内発的動機づけの高さに関する考察. <コロキウム—報告と討論—>全国6言語アンケート調査結果(最終報告)とロシア語教育の方向性. 日本ロシア文学会第64回大会, 山形大学.